

# いじめなんか、いらない!!

東日本大震災から、私たちは学んだ

## 企画 意図

東日本大震災の被害は、住宅や商店ばかりでなく、学校にも押し寄せました。明日も続くと思っていた学校生活、いつでも会えると思っていた友だちの姿が一瞬にして奪われてしまう…。この作品は、被災した中学校、変わり果てた町の姿、大人・子どもたちのコメントを中学生たちが視聴し、いじめが、いかに、いまの生活やいのちのありがたさを忘れて起きているかを自覚していく姿を描いたものです。

## 内容

### ＝問題提起＝

津波で破壊され、地震で陥没した学校。倒壊した被災地の姿。残された子どもたちの賞状や写真…。身近な人を失った人々、家や友だちを失った避難所の子どもたちが、いま不便ながら、生きて生活できていること、友だちと会えることのありがたさを語ります。



### ＝被災地の映像を見て感じたこと＝

中学生たちが被災地の姿やコメントを視聴して、感じたことを話し合います。自分たちの学校生活、毎日の暮らしで見落としているもの。被災地への思いを語る中から、いじめが起きるいまの自分たちの学校生活、友だちとのあり方を見つめなおしていきます。



### ＝自分たちが体験したいじめ＝

いじめられた体験、いじめていた体験、いじめがありながら、ただ見ていただけだった体験…それぞれの体験を語りながら、被災地の姿や子どもたちのコメントから、自分たちが体験したいじめが何から生まれているのか、どうすればいじめを防ぐことができるかを子どもたちが自ら自分に問いかけ始めます。



### ＝いじめはいのち・人権を傷つけること＝

いじめに加担した友だちと仲直りすることでえられた深い絆。あのとき、いじめを乗り越えようとしないうちに互いが失われていたら…。涙をこらえきれず、語り合う中で、子どもたちは、いじめが人の心、いのちを傷つけてしまうことだという気づきを持ちます。楽しい学校生活を自然の災害ではなく、自分たちが奪っている…。思わず、子どもたちから、声が上がります。「もう…いじめなんか、いらない!」



監督・脚本・・・秀嶋 賢人

企画・制作・・・フォア・ザ・ワン・プロジェクト (<http://www.hideshima.co.jp>)

制作協力・・・(株)びえろプラス

2011年作品

p.